

## 令和2年度第2回教育研究評議会議事録

日時 令和2年5月20日(水) 14:30～16:28 TV会議  
場所 事務局5階大会議室、事務局別館1A会議室、S-P o r t 3階会議室  
出席者 石井、丹沢、木村、東郷、池田、大場、手島、寺村、小谷、河合、笹原、  
白井、日詰、田島、江口尚、熊倉、近藤、小西、田中、北村、川田、喜多、  
森田、鳥山、江口昌、原、三村、朴、澤田の各評議員  
陪席者 鈴木、村松の各監事、青木、藤井、宮原の各学長補佐  
山下フィールドセンター長（審議事項8のみ）

### I 前回議事録の承認について

令和2年度第1回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 新法人設立・大学再編について

議長から、新法人設立・大学再編について、資料1-1により、合意書締結後の会議等の開催状況、資料1-2により、第17回静岡大学・浜松医科大学連携協議会（令和2年3月30日）、資料1-3により、第18回静岡大学・浜松医科大学連携協議会（令和2年4月30日）の報告があり、意見交換を行った。

また、本会議の前に、再編・統合に対し全国的に署名活動を行った「静岡大学教員有志の会」からネット分237人を含む2,740人の署名を受け取ったとの報告があった。

《要求書内の内容要求項目》

「2022年度を目指し静岡大学と浜松医科大学を浜松地区大学と静岡地区大学の2大学に再編する」という静岡大学の機関決定を凍結すること。ほか

＜議長の主な説明＞

- ・ 浜松地区の大学の在り方、運営の仕方、教育研究の軸については、浜松地区大学運営検討専門委員会の下に置いたWGで議論していく予定である。
- ・ 第2回静岡大学将来構想協議会は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、書面審議で開催され、5月中旬に静岡市のHPで公開される予定である。
- ・ コンサルタント会社のアクセントから「経営力を強化する新たな法人経営の実践のための業務執行及びその体制の効率化に向けた支援業務」報告については、Office365 上でのストーリーミング配信を5月29日まで行っているのを確認いただきたい。また、紙媒体資料は企画課事務室内で閲覧できることとした。

＜委員から出された意見等＞

- ・ 近藤委員から、アクセントの報告のストーリーミング配信の方法について質問があり、手島委員から、ガルーンの企画部の掲示板を参照いただきたいとの回答があった。
- ・ 笹原委員から、アクセントの紙媒体の報告書について、浜松キャンパスでの閲覧は可能かとの問い合わせがあり、手島委員から検討するとの回答があった。

## 2 平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間(平成28~31事業年度)に係る業務の実績に関する報告書について

河合委員から、平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間(平成28~31事業年度)に係る業務の実績に関する報告書について、資料2により説明があり、改めてメールにより確認依頼を行うため、意見、修正等があれば、6月5日を目途に指摘いただきたいとの発言があった。

また、議長から、本件は次回の本会議で議論し、6月30日までに文部科学省に提出する予定であるとの発言があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、大学院の入学定員超過率について質問があり、丹沢委員から認証評価についてはABPの学生を入れて130%未満だが、他の指標も含めて後ほどお知らせするとの回答があった。
- ・ 議長から、資料の一部に年度の統一がなされていない箇所があるとの発言があり、河合委員から確認するとの回答があった。

## 3 中期目標の達成状況報告書について

河合委員から、中期目標の達成状況報告書について、資料3により説明があり、改めてメールにより確認依頼を行うため、意見、修正等があれば6月5日を目途に指摘いただきたいとの発言があった。

また、議長から、本件は次回の本会議で議論し、6月30日に大学改革支援・学位授与機構に提出する予定であるとの発言があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 鈴木監事から、テニユアトラックの進捗状況について、新しい内容や体制強化の具体例などを追記することを検討いただきたいとの発言があった。

## 4 令和3年度人文社会科学研究科改編について

日詰委員から、令和3年度人文社会科学研究科改編について、資料4により提案があり、審議の結果、これを承認した。

## 5 農学部ふじのくにCNF寄附講座の設置について

木村委員及び森田委員から、農学部ふじのくにCNF寄附講座の設置について、資料5により提案があり、審議の結果、これを承認した。

## 6 浙江大学(中国)との大学間交流協定の更新について

白井委員から、浙江大学(中国)との大学間交流協定の更新について、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

## 7 インドネシア教育大学(インドネシア)との大学間交流協定の更新について

白井委員から、インドネシア教育大学(インドネシア)との大学間交流協定の更新について、資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

## 8 農学部附属地域フィールド科学教育研究センター（藤枝フィールド）一部譲渡契約について

森田委員及び山下フィールドセンター長から、農学部附属地域フィールド科学教育研究センター（藤枝フィールド）一部譲渡契約について、資料8により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

## 9 学生の懲戒処分について

寺村委員から、学生の懲戒処分（2件）について、別添資料により提案があり、審議の結果、資料の一部追記修正を含め、これを承認した。

＜議事に関連して委員から出された意見等＞

- ・ 鈴木監事から、処分を受けた学生のサポートについて要請があった。また、処分基準の周知が十分だったかとの質問があり、寺村委員と白井委員からガイダンスやポスター掲示をしており、周知は十分に行っているとの回答があった。これを受け、鈴木監事から、再発防止に向け、改めて周知徹底について依頼があった。

## III 報告事項

### 1 令和2年度第2回企画戦略会議（令和2年5月7日）報告

議長から、令和2年度第2回企画戦略会議(令和2年5月7日)について、資料9により報告があった。

### 2 令和2年春の叙勲について

議長から、令和2年春の叙勲について、資料10により名誉教授5名及び元事務局長1名の受章の報告があった。

### 3 教員採用報告について

議長から、教員の採用1件について、資料11により報告があった。

### 4 静岡大学教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の一部修正について

丹沢委員から、静岡大学教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の一部修正について、資料12により報告があった。

### 5 令和2年4月入学大学院入学試験実施状況について

丹沢委員から、令和2年4月入学大学院入学試験実施状況について、資料13により報告があり、来年度の認証評価の評価対象は各専攻の5年間の平均入学定員充足率で、これは70%以上130%未満とされており、現在の状況は範囲内にあることが紹介された。なお、教育学研究科の共同教科開発学専攻（博士課程）と教育実践高度化専攻（教職大学院・専門職学位課程）については配慮が必要との説明があり、改めて評価基準を確認し、各部局長に報告したいとの発言があった。

## 6 第3期中期目標期間における中期計画実施体制の一部改正について

東郷委員から、第3期中期目標期間における中期計画実施体制の一部改正について、資料14により報告があった。

## IV その他

### 1 グリーン科学技術研究所プロジェクト研究室利用公募について

朴委員から、グリーン科学技術研究所プロジェクト研究室利用公募について、資料15により案内があり、各部署の教員へ周知するよう依頼があった。

### 2 地震防災WEBセミナーの実施について

手島委員から、地震防災WEBセミナーの実施（4月30日～8月7日）について、資料16により案内があり、各部署の学生及び教職員へ周知するよう依頼があった。

### 3 新型コロナウイルス感染症に関する大学の対応について

議長から、新型コロナウイルス感染症に関する大学の対応について、資料17により報告があり、意見交換を行った。

<議長の主な説明>

- ・ 6月5日（金）までの全ての授業については、引き続き在宅授業のみ実施
- ・ 6月8日（月）以降の授業から、3密対策等の感染防止対策が講じられていることを要件として、実施可能な科目・授業については、対面授業を一部開始する。
- ・ 対面授業を実施する科目・授業及び在宅授業を継続する科目・授業については、今後、各部署で検討を行い、5月29日（金）には、学務情報システム等を通じて、学生に周知する。
- ・ 新型コロナウイルス感染症における静岡大学活動指針のレベルごとの内容の見直しとレベルを下げる時期等について、本会議終了後、対策本部会議を開催し、議論する。

<委員から出された意見等>

- ・ 田中委員から、文部科学省からの通知文にある「大学所在地の都道府県等の衛生主管部局と相談すること」についての対応に関する質問があり、手島委員より、本日付で静岡県大学課長から、県の衛生主管部局に特段の相談事項がない場合は、静岡県の新型コロナウイルス感染対策の方針などに沿って対面授業を開始するよう通知があったとの回答があった。
- ・ 田中委員から、同通知に「学生の通学時間が通勤時間帯を避けられるよう、授業を分散して実施することなどの感染リスクを低減するための対策について検討いただきたい」とあり、学長が常々おっしゃっている内容でもあり、今後検討されると聞いているので、その点を十分お願いしたいとの発言があった。また、「大学等の構内に不特定多数の者が出入りする状態を生じることのないよう配慮すること」とあり、数値の判断があればお聞きしたいとの質問があり、議長から、今の段階では、各学部の専門科目は対面授業を行わないという方針であるため、通学も含めてすぐに議論する必要はないと考えるが、今後、対面授業が増えていくことになると、数値での議論が必要であるとの発言があった。
- ・ 鈴木監事から、アルバイト収入が無くなった学生など、困窮学生を対象に、本学とし

て貸与する制度はあるのか質問があり、議長から、5月19日に「静岡大学未来創成基金による学生支援貸付金事業」制度を創設し、大学HPに掲載し学生へ周知しているとの回答があった。また、100名を超えた場合には支援対象者を追加する予定であるとの発言があった。

- ・ 鈴木監事から、附属学校園で問題は発生していないかとの質問があり、丹沢委員から来週から授業を再開するとの発言があった。また、江口委員から附属学校園統括長が情報収集を行っているとの回答があった。
- ・ 朴委員から、9月入学の検討状況について質問があり、議長から特に情報を持っていないとの回答があった。
- ・ 日詰委員から、大学入試の実施に関する変更の有無について質問があり、議長からは、一般論として、今年度に関しては受験生の利益を最優先し、柔軟に対応することとなるが、現時点では、日程通り実施する予定であるとの紹介があった。
- ・ 小谷委員から、就職活動の現状把握について質問があり、丹沢委員から、就職相談室でオンラインでの学生相談を受けているとの回答があった。
- ・ 近藤委員から、新型コロナウイルス感染の影響で、大学院入学者の増加が予想され、その際の入学定員充足率の扱いについて質問があり、意見交換を行った。

以上